

—第5回(9月)定例会—

健康保険証 令和6年12月2日以降 新規発行が終了!!

令和6年 第5回定例会が9月3日から9月27日まで25日間の会期で開催され、令和6年度一般会計補正予算などの予算関係6件、令和5年度決算認定関係12件、報告関係5件、条例関係1件、その他6件、人事関係2件の計32件が審議され、すべての議案が可決・認定・同意されました。また、最終日に議員提出議案の「地方財政の充実・強化を求める意見書」について、もっと仙北市議会全体での議論が必要との反対意見が多数で否決となりました。

■第5回 定例会で可決された主な議案

議案第78号及び議案第79号 財産の取得について【全会一致で可決】

【議案第78号】除雪ドーザ14t級(2台)の取得		【議案第79号】除雪ドーザ14t級(1台)の取得	
車輛概要	アングリングブラウ(ピン式) 2人乗り	車輛概要	サイドスライドアングリングブラウ(カプラ式) 2人乗り、ロータリー除雪装置付き
購入台数	2台	購入台数	1台
購入価格	46,178,000円(1台23,089,000円)	購入価格	41,250,000円
購入業者	(株)大曲産業機械 角館支店	購入業者	(株)大曲産業機械 角館支店
納入期限	令和6年10月31日	納入期限	令和7年7月31日
契約方法	指名競争入札	契約方法	随意契約
※除雪ドーザの老朽化による取替え			

議員提出議案第5号「意見書」が否決される

最終日に総務文教常任委員会から提出された議員提出議案第5号「地方財政の充実・強化を求める意見書」に対して、2名の議員による反対討論があり、採決の結果反対多数で否決となりました。

反対討論① 総務文教常任委員5名中3名の賛成者での意見書提出であり、もう一度常任委員会での議論が必要ではないか。

反対討論② 常任委員会で十分な議論をした実感がない。要望内容に拡大解釈が過ぎる部分がある。仙北市の国への要望書を確認したうえで再度この要望書を検討するべき。

9月12日～ふるさと納税・コメを返礼品とする寄付を停止!!

ふるさと納税の返礼品の80%を占める秋田県産米の価格高騰により、あきたこまちの買い付けが難しくなり、コメの返礼品を取り扱う事業者が必要量を確保するのが困難な状況にあります。

◆昨年度寄付額 25億8千万円(過去最高)
◆昨年度経費 14億8千万円
◆実質的な収入 約11億円
(今年度予算に10億円充当)

議決結果/議員賛否 令和6年 第5回 仙北市議会定例会(招集日:令和6年9月3日 最終日:9月27日)

凡例: 賛→賛成 反→反対 退→退席 欠→欠席(議長は法律に定める特定のケース以外では表決をしないことになっています)

議案番号	会派及び氏名 件 名	議決月日	議決結果	蒼生会					公明党	共産党	無会派							
				小林幸悦	真崎寿浩	高橋輝彦	武藤義彦	青柳宗五郎			門脇晃幸	熊谷一夫	平岡裕子	高久昭二	荒木田俊一	田口寿宜	澤田雅亮	中村和彦
議案第79号	財産の取得について（除雪機械2）	9/3	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛

議案番号	会派及び氏名 件 名	議決月日	議決結果	蒼生会					せん新成く		公明党	共産党	無会派					
				小林幸悦	真崎寿浩	高橋輝彦	武藤義彦	門脇晃幸	青柳宗五郎	小田島広仁			中村和彦	西宮三春	熊谷一夫	平岡裕子	高久昭二	荒木田俊一
議案第80号	仙北市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	9/27	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛
議案第82号	令和6年度仙北市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	9/27	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛
議案第86号	令和5年度仙北市一般会計歳入歳出決算認定について	9/27	認定	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛
議案第88号	令和5年度仙北市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	9/27	認定	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛
議案第94号	令和5年度仙北市病院事業会計決算認定について	9/27	認定	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
議員提出議案第5号	意見書の提出について（地方財政の充実・強化を求める意見書）	9/27	否決	反	賛	反	反	反	反	反	反	反	反	賛	賛	賛	賛	反

※全会一致で可決された議案については議員賛否を掲載しておりません。

一般会計補正額5億2,964万9千円を可決 累計216億3,164万6千円に クマ・イノシシの被害防止用の電気柵購入費補助金などが可決

令和6年度一般会計補正予算(第4号・第5号)の主な事業

定額減税補足給付金事業費	5,849万円	定額減税の所得税補足給付対象者の確定による給付金の不足分
高齢難聴者補聴器購入費助成事業費	30万円	65歳以上の中度難聴者の補聴器購入費の助成金の増額
医療 MaaS 管理運営事業費	13万円	医療機関への受診が困難な市民を遠隔診療するための移動診療車整備事業費の増額
有害鳥獣駆除事業費	397万円	農産物等の被害防止用の電気柵購入費補助金やくくり罠購入費等
校務支援システム運用事業費	323万円	秋田県が主導する校務支援システムに係る費用
農業用施設災害復旧事業費	587万円	今年6月30日以降の大雨被害を受けた農地、農業用施設復旧経費
公共土木施設災害復旧事業費補助金	3,082万円	昨年8月以降大雨被害を受けた河川の災害復旧経費
観光アクセス推進事業費	130万円	角館駅と紅葉の抱返り溪谷のシャトルバス運行経費の補助金
ふるさと仙北応援基金積立金	3億円	ふるさと納税寄付金の増額見込みによる基金積立金増額(計18億円)
ふるさと納税ふるさと便事業費	1億5,165万円	ふるさと納税寄付金の3億円増額分の返礼品などの経費

補正予算関連の一般質問・予算常任委員会での主な質疑

◆クマ・イノシシの被害防止対策について

質問 有害鳥獣駆除事業費の内容について伺う。

答弁 鳥獣被害対策実施隊員(猟友会)の報酬増額に249万9千円、新規狩猟者登録補助金5万6千円、くくり罠購入費41万8千円、電気柵購入費の補助金100万円である。

質問 電気柵購入費補助金の対象者と補助額を伺う。また、果樹木の伐採に係る補助はないのか。

答弁 出荷用の作物(水稻も含む)の被害防止のための電気柵購入費の1/3(上限が10万円)を補助する。また、果樹木伐採の補助金は、他市町村での成果を見て判断したい。

◆高齢難聴者補聴器購入費助成事業について

質問 今年度のこれまでの助成状況と今回の増額補正の内容について伺う。

答弁 当初予算として、上限3万円の助成金を20人分見込んで60万円計上していたが、8月で予算に達したため、今後の申請件数を鑑み、10人分の30万円を増額補正した。

補足 国保市民課窓口に「軟骨伝導イヤホン」を導入した。まだ利用はないが、かなりクリアに聞き取れる。今後の利用を呼びかけていく。

◆医療 MaaS 管理運営事業費の増額について

質問 医療 MaaS 管理運営事業費を13万円増額する内容と今後の事業展開について伺う。

答弁 医療 MaaS 車両「せんぱく医信電診丸」(移動診療車)の乗り降りの際のスライド式ステップまでの歩行が困難な方のために、車いす用のスロープを購入する費用である。今後も利用者の要望等に応じて改善していきたい。また、看護師が同乗しており、遠隔診療だけではなく、直接患者の異常を感じたり、患者との会話による対応も重視していきたい。

令和5年度 歳入歳出決算認定なる！

9月定例会では令和5年度の決算についても審査されました。一般会計の決算額は歳入総額240億6,069万4千円、歳出総額235億7,914万5千円で、翌年度に繰り越すべき財源の7,993万2千円を差し引くと、実質収支額が4億161万7千円の黒字になっています。

令和5年度一般会計・特別会計決算収支状況

(単位：円)

区分	歳入 ①	歳出 ②	形式収支 ③ (①－②)	翌年度に繰 り越すべき 財源 ④	実質収支 ⑤ (③－④) 下段前年度	単年度収支
一般会計	24,060,694,351	23,579,145,404	481,548,947	79,932,000	401,616,947 531,993,985	△ 130,377,038
特別会計	7,846,670,732	7,706,815,697	139,855,035	0	139,855,035 214,494,504	△ 74,639,469
特別会計の内訳	集中管理	3,944,143,023	0	0	0 0	0
	国民健康保険 事業勘定	2,692,038,975	105,400,994	0	105,400,994 159,104,936	△ 53,703,942
	国民健康保険 神代診療施設	87,468,793	38,487	0	38,487 92,627	△ 54,140
	後期高齢者医療	360,442,464	27,100	0	27,100 800	26,300
	介護保険	583,432,334	79,194	0	79,194 195,093	△ 115,899
	生保内財産区	123,327,590	25,446,396	0	25,446,396 35,721,126	△ 10,274,730
	田沢財産区	50,793,703	8,253,136	0	8,253,136 18,347,468	△ 10,094,332
	雲沢財産区	5,023,850	609,728	0	609,728 1,032,454	△ 422,726
総計	31,907,365,083	31,285,961,101	621,403,982	79,932,000	541,471,982 746,488,489	△ 205,016,507

注：単年度収支＝当年度の実質収支－前年度の実質収支

解説

自治体における黒字決算について（一般質問に対する田口市長の答弁から）

- ◆自治体の黒字は、民間企業の黒字とは全く違う意味合いであることを知っていただきたい。
- ・自治体の会計は、借金であろうが基金を取り崩そうが収入として扱うことができる。
- ・黒字であっても、借金が増えたり、基金が減っていくという現象もあり得ることである。
- ・予定した事業ができなかったり、補助金より少ない金額で事業が完了すると差引プラスで黒字と表現される。
- ・黒字分は基金に戻したり、補助金を返納したりして、自由には使えない黒字である。
- ・民間企業の黒字は利益であるが、自治体の黒字は利益ではない。

令和5年度のふるさと納税に係る経費は基準以下に納まっているか
質問 ふるさと納税の経費を令和5年10月から50%以下にするよう通達されたが、令和5年度決算を見ると、ふるさと納税に係る経費が56%となっているが大丈夫か。
答弁 令和5年度決算書の経費には、ふるさと納税の経費ではない仙北市の魅力発信する経費が入っており、それらを除外すると経費は49.4%に納まっている。

経常収支比率が100%を超えたことについて
質問 財政構造の弾力性を示す指標とされる「経常収支比率」が101.8%になっている。これまでに業務の効率化や時間外勤務の圧縮などに取り組んできた成果が見えないことの説明を聞きたい。
答弁 人件費は昨年度に比べて4,114万円減少しており、取り組みの成果は表れている。令和5年度は、病院事業の収入減による補助金の2億円増額や、はなさき仙北への補助金の1億円増額があり、経常収支比率の悪化に大きく影響した。

令和5年度一般会計決算
 本会議及び予算常任委員会
 の質疑から